FUJITSU

B7FH-4621-01-00

PRIMERGY TX200 S3
ラックマウント変換機構を選択された方へ

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本紙をご覧になり、PRIMERGYを使用する準備を行ってください。

お買い上げの PRIMERGY TX200 S3 は、ラックに搭載して使用するラックマウントタイプです。
本紙では、サーバをラックに搭載する方法について説明しています。
本紙をご覧になり、PRIMERGY TX200 S3 を正しくお使いいただきますよう、お願い致します。

1 ラックマウントキットの内容を確認する

本サーバには、ラックに搭載するためのラックマウントキットが同梱されています。
最初に、以下の部品がすべて揃っていることを確認してください。万一、欠品・不良品等があった場合は、担当営業員に連絡してください。

□ スライドレール× 1（左右一組） [左] [右]	□ M4 ネジ× 6	□ M5 サラネジ× 8
	□ ワッシャー× 8	□ M5 ラックナット× 4

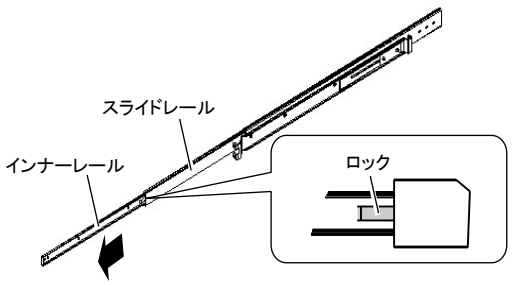
2 サーバ本体をラックへ搭載する

サーバ本体をラックへ搭載するまでの手順について説明します。

- ラックは必ず固定し、転倒防止用スタビライザを取り付けてください。ラックの設置に関する詳細は、『ラック設置ガイド』およびラックに添付のマニュアルを参照してください。
- サーバ本体の総重量は 36kg を超えますので、サーバ本体の運搬を行う場合は、必ず 3 人以上で本体の左右側面、および底面を持ってください。

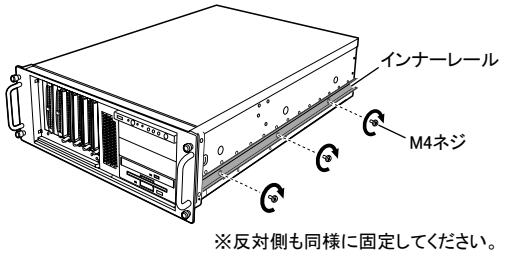
1 スライドレールからインナーレールを取り外します。

ロックを押しながら、インナーレールを引き抜いてください。



2 サーバ本体の左右に、インナーレールを取り付けます。

インナーレールの左右各 3 箇所を、M4 ネジで固定してください。

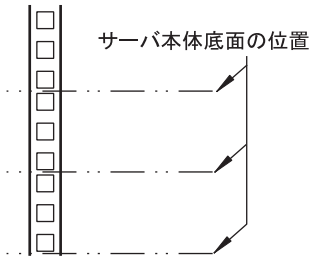


3 ラックのフロントドアとリアドアを開けます。

4 スライドレールと、ラックナットの取り付け位置を決めます。

ラック支柱の穴の間隔が狭い位置（下図を参照）のいずれかに、サーバの底面がくるように合わせます。

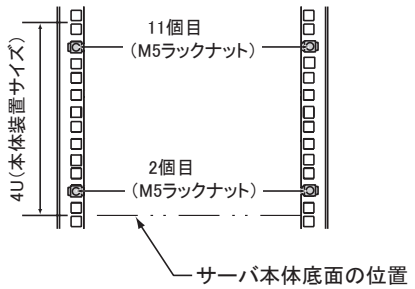
［ラック支柱］



5 M5 ラックナットを取り付けます。

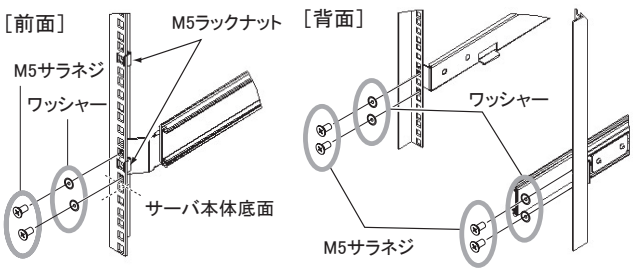
1 台の筐体につき 4U 使用します。サーバ本体を取り付ける位置の下から 2 個目と 11 個目の位置に、ラック支柱の内側からツメを引っ掛けて、取り付けてください。

［ラック支柱前面］

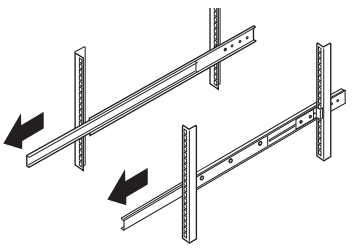


6 スライドレールをラックに取り付けます。

スライドレールは、サーバ本体を取り付ける位置の下から 1 個目と 3 個目の位置に、M5 サラネジとワッシャーで取り付けてください。



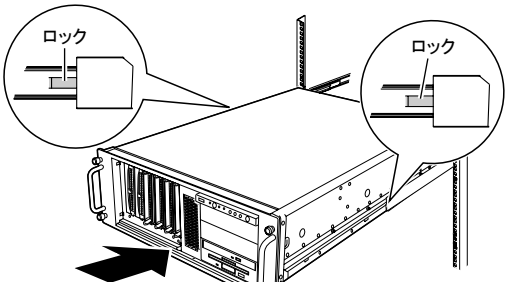
7 スライドレールを、「カチッ」と音がするまで伸ばします。



8 サーバ本体をラックに取り付けます。

スライドレールの溝と、サーバ本体に取り付けたインナーレールの溝を合わせ、サーバ本体を後方にスライドさせます。

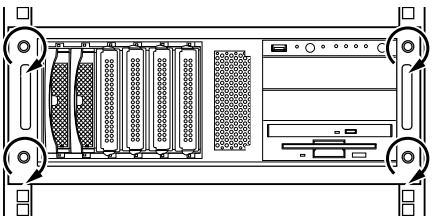
左右のスライドレールのロックを押しながら、さらに後方にスライドさせて、ラックに搭載してください。



サーバ本体をスライドさせる場合や、元に戻す場合は、充分注意してください。指や衣服が挟まれて、けがをするおそれがあります。

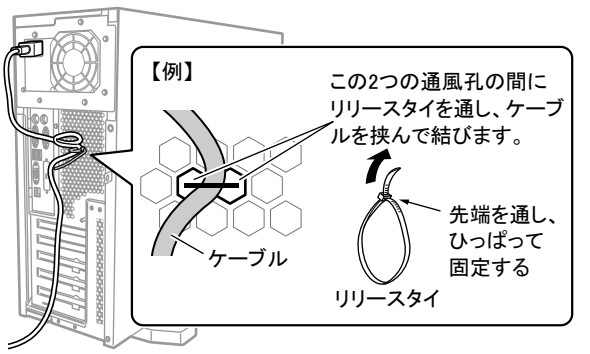
9 サーバ本体とラックを固定します。

M5 つまみネジ 4 本で固定してください。



■ラック搭載後の周辺装置の接続について

各種ケーブル類を接続する際は、サーバ本体をラックから引き出して作業することを考慮し、余裕を持たせた配線を行ってください。また、サーバ本体を前面に引き出す際に電源ケーブルが抜け落ちることを防止するために、電源ケーブルをサーバ本体に接続したあと、下図を参考にして、添付のリリースタイでサーバ本体背面の通風孔と電源ケーブルのコネクタから 10cmくらいの箇所を固定してください。



なお、本体の電源ケーブルを抜くときは、必ず本体側の電源コネクタを抜くようにしてください。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2006

古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

大豆インキで印刷しています。